

「減量加工 ～吊り練り方式～」

UTICでは工程管理が難しく作業性の悪い吊り練り方式をあえて行い高品質な風合いを得ています。一般的にポリエステル繊維でのアルカリ減量加工は機械によるパッド方式が多く、パッド方式は安定した品質は得られますが、より滑らかなドレープ性のある風合いを求めることは難しくなります。当社の吊り練り方式減量加工は生地を行燈巻き状態にして、風呂釜のような釜に生地を沈めながら糸・繊維へのストレス軽減を水流の力で最大限に行い、高濃度アルカリ液で加水分解処理をしています。染色加工・後加工の樹脂加工とは異なり、生地自体を改質させていますので生地自体の硬さを取り芯を無くしてより柔らかな、シルクのようなドレープ性のある風合いを実現させています。また、高減量加工も可能ですのでよりシルクのような極上の風合いを求める事も出来ます。※天然繊維や化学繊維等は減量加工が出来ませんのでご注意ください。



※本資料に記載されている内容や画像は当社独自のイメージとなります。
よって、あくまでイメージですので本製品を保証するものではありません。
製品の効果に関しましては試験加工にてご確認を願います。

